

世界初のレーザーで緻密に加工されたサウンドホールローゼットとフィンガーボードインレイの最新技術。職人の手による仕上げと、最新のデジタル加工技術との融合から生まれた芸術品と呼ぶに値する完成度は、登場以来、プロミュージシャンをはじめとする多くのギタリストを虜にしてきました。今回、520と530の2機種には、TRANSIT CONTROL SYSTEM TRS/TRANSIT STプリアンプを搭載。これからは、そのドレッドノートに匹敵する生鳴りのボリューム感とエレファントの新たな可能性までを兼ね備えた500シリーズは、タカミネだけにとどまらず、すべてのエレアコを代表するラインナップとして君臨します。

●サウンドホールローゼット
レーザーで緻密に加工され、いねいにボディトップへ埋め込まれた500シリーズオリジナルローゼット。そのデザインはエジプトに古くから伝わる紋様をイメージしています。PT-507、508にはメイプル、パドーク、ハカランダで、それを基本としてNPT-510、515には白蝶貝が、TRS-520、530にはアバロンが加わったローゼットが施されています。



●ポジションマーク
サウンドホールと同じく、エジプトに古くから伝わる紋様をイメージし、デザインされた500シリーズオリジナルのポジションマーク。PT-507、508には12フレットにレーザー加工されたパドーク、白蝶貝でインレイを施し、それを基本として、NPT-510、515にはドットポジションとの組み合わせで、TRS-520、530には、パドーク、ハカランダ、アバロンで構成されたオリジナルポジションマークをすべてに施しています。



PT-507 ¥70,000
(HARD CASE - HC-125 ¥12,000)
● TOP - CEDAR
● BACK & SIDE - MAHOGANY
● NECK - MAHOGANY
● FINGERBOARD - ROSEWOOD
● CONTROL FUNCTIONS
● VOLUME/TREBLE/MIDDLE BASS/EXCITER
● SWITCH - BATTERY CHECK
● FINISH OPTIONS
- VB (VINTAGE BROWN)
- WR (WINE RED)

WR (WINE RED)



VB (VINTAGE BROWN)



SBS (SATIN BROWN SUNBURST)



NS (NATURAL SATIN)



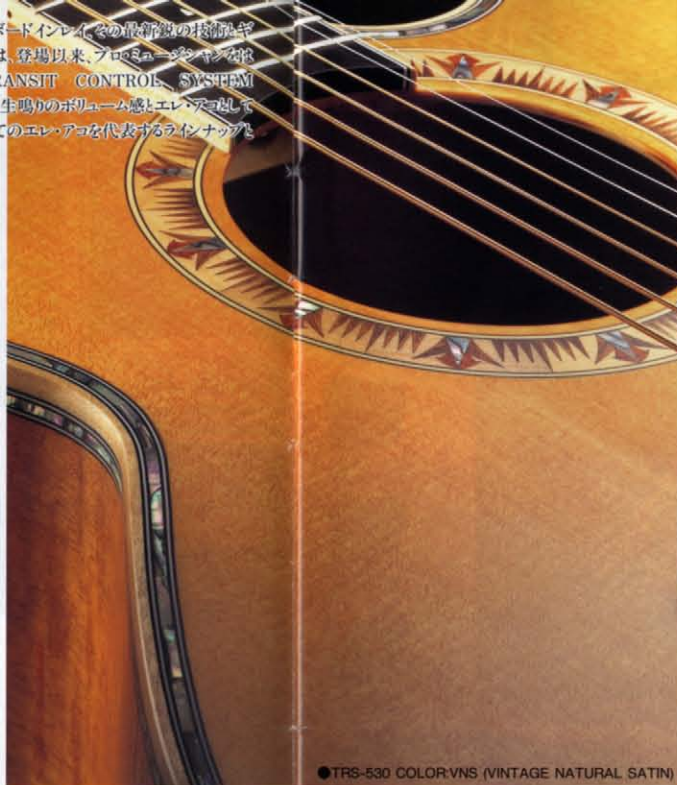
ANS (ANTIQUE NATMEG SATIN)



VNS (VINTAGE NATURAL SATIN)



VTS (VINTAGE TOBACCO SUNBURST SATIN)



●TRS-530 COLOR:VNS (VINTAGE NATURAL SATIN)

TRS/TRANSIT ST SYSTEM

TRS-520とTRS-530の2機種には、TRANSIT CONTROL SYSTEMのTRANSIT STプリアンプを搭載しています。1〜3弦、4〜6弦をセパレートし、Ch.1、Ch.2のそれぞれのプリアンプで個別にサウンド設定をおこない、エンドピンジャックとボディサイドジャックを使用するステレオ出力が可能な2チャンネルステレオプリアンプです。

●VOLUME

ワンタッチで飛び出すボリュームノブ。使用時以外はもう一度プッシュすれば、ノブはコントロールパネルにフラットにおさまります。全体の出力を調節するマスターボリュームです。

●BASS

低音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。Ch.1、Ch.2の各プリアンプに対して個別に装備しています。

●TREBLE

高音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。Ch.1、Ch.2の各プリアンプに対して個別に装備しています。

●Ch VOLUME

Ch.1、Ch.2の各プリアンプの音量をコントロールします。

●MODE

1〜3弦、4〜6弦を2組にわけて(SEPARATE側)、または1〜6弦までを1組として(MIX側)、Ch.1、Ch.2の各プリアンプに入力するかを選択するスイッチです。

●OUT Select

2台のアンプ等へステレオ接続した場合に、Ch.1、



Ch.2の各プリアンプの出力をエンドピンジャック、ボディサイドジャックのどちらへ出力するかを選択するスイッチです。Aを選択した場合、Ch.1で設定された出力がエンドピンジャックへ、Ch.2で設定された出力がボディサイドジャックへの出力となり、Bを選択した場合はその逆の出力となります。またこのスイッチは、エンドピンジャックのみのモノラル接続の場合、Ch.1、Ch.2のどちらを出力するかを選択するスイッチとなります。

接続例

例.1/1〜3弦、4〜6弦のセパレートステレオ出力。

①エンドピンジャック、ボディサイドジャックを使用し2台のアンプ等に接続。

②OUT SELECTスイッチをAに選択。

③MODEスイッチでSEPARATEを選択。

これで、Ch.1[1〜3弦]のプリアンプで設定したサウンドがエンドピンジャック側へ、Ch.2[4〜6弦]のプリアンプで設定したサウンドをボディサイドジャック側へ出力されます。

例.2/1〜6弦のミックスステレオ出力。

①エンドピンジャック、ボディサイドジャックを使用し2台のアンプ等に接続。

②OUT SELECTスイッチをBに選択。

③MODEスイッチでMIXを選択。

この場合1〜6弦をミックスして、Ch.1のプリアンプで設定したサウンドがエンドピンジャック側へ、Ch.2のプリアンプで設定したサウンドをボディサイドジャック側へ出力されます。それぞれのプリアンプで異なるサウンドを設定し、片側の出力のみコーラス等のエフェクターをかける事も可能なセッティングです。

*OUT SELECTスイッチをB選択した場合。

MODEスイッチでSEPARATE、MIXのどちらのポジション時でも、Aを選択時の出力とは反転し、Ch.1で設定したサウンドがボディサイドジャック、Ch.2で設定したサウンドはエンドピンジャックへの出力となります。

例.3/エンドピンジャックのみを接続したモノラル出力。

この接続の場合はMODEスイッチをMIXにする事を条件として、OUT SELECTスイッチを切り替える事により、Aを選択した場合Ch.1、Bを選択した場合Ch.2のそれぞれで個別に設定したサウンドを同時に選択する事が可能です。

*MODEスイッチでSEPARATEを選択した場合。

1〜3弦、4〜6弦のセパレートしたどちらか一方しか出力されませんのでご注意ください。

各チャンネルのコントロールはフラット(12時)の位置を基準として設定をおこなって下さい。フルアップ(コントロールパネルの赤トド表示位置)にした場合オーバーブースト気味となり接続する機材の特性により歪みが生じる可能性があります。

注)ボディサイドジャックのみを接続した場合は、電源スイッチ機能がないため動作しません。接続例については、TRANSITシリーズのページ(2ページ)も合わせてご参照下さい。